

令和7年度第1回大府市水道事業経営検討委員会 議事録(要点記録)

日 時	令和7年5月27日(火)9時30分～11時15分
場 所	大府市役所 全員協議会室
出席委員	8人(欠席者なし)
傍 聴 者	なし
次 第	1 あいさつ 2 委員紹介 3 委員長及び副委員長の選任 4 検討委員会の役割と進め方 5 議事 (1) 水道事業の概要について (2) 水道事業の経営状況について (3) 経営基盤強化の取組について (4) 今後の課題について 6 その他 今後の会議開催スケジュールについて

【議事における主な質疑】

(1) 水道事業の概要について

- 市民意識調査の項目「水の安定供給」の比較対象や、質問の仕方について
⇒ 比較対象は、「健康づくり」、「消防救急体制」、「子どもの教育充実」などの市の施策全般である。また、質問に対する回答として、「力を入れてほしい」、「できれば力を入れてほしい」などの項目を点数化し、重要度や満足度を示している。
- 管路図に示す緑色部分(耐震管・耐震適合管以外)の耐震化の予定について
⇒ 今後、耐震化を進めていく予定である。
- 家庭用としての給水契約(φ13mm、φ20mm)について
⇒ 家庭用といった用途による制限はない。状況に応じた適正な口径で契約している。
- 給水人口の算出について(昼間人口の捉え方)
⇒ 総人口から井戸水使用世帯人口を除いた数字としている。
- 有収率について
⇒ 「率が高いことは漏水が少ない」、「3.5%は料金収入が得られていない」ということ。有収率96%は他団体より高く優秀である。

(2) 水道事業の経営状況について

- 現状、健全経営を維持できているが、今後、施設の更新や受水費の増加により近い将来赤字となることが予測される。

- 水道料金の減免と会計について

⇒ 条例等に準拠した上で、今年の４月から９月の間、物価高騰下の生活支援として、水道基本料金の半額減免を行っている。減額分の財源は一般会計から補填している。

- 過去における愛知県の受水費値上げに伴う市の料金改定について

⇒ 市では平成23年と平成26年に料金改定をしているが、経営状況に応じてのもので、受水費の値上げに因るものではない。

- 給水量減少に伴う愛知県からの受水量への対応について

⇒ 本年から承認基本給水量を１日当たり 30,400 m³から 30,000 m³へ減らし、受水費を圧縮した。

- 料金回収率が令和7年と令和11年以降下がる理由について

⇒ 令和7年は一時的な工事費が予定されているため。

また、令和11年以降は、配水場の更新に伴う減価償却費の増大や令和8年以降に予定する企業債借入の影響で支払利息が増大するため。

- 過去に給水申込分担金を4条予算から3条予算へ移したことによる経営への影響について

⇒ 一時的に収益的収入は増加したが、経営への影響については不明である。

※ 「3条」とは収益的収支、「4条」とは資本的収支の総称

- 「料金収入」以外の「その他収入」について

⇒ 給水申込分担金や下水道使用料徴収事務に対する手数料などが該当する。

(3) 経営基盤強化の取組について

- ネーミングライツについて

⇒ 配水場等への導入を検討している。

- キャッシュレス決済における経費について

⇒ キャッシュレス決済の費用はコンビニ収納と同じ仕組みであり、新たなコストは発生していない。

- 過去の国庫補助金の活用について

⇒ 重要給水施設へ配水する基幹管路の耐震化事業に活用してきた。

- 大府の水は、他と比べてもとても美味しい。

- 「おおぶの水」の販売状況、採算性、今後の販路拡大について

⇒ 賞味期限 5 年、1本あたり 110 円で価格設定し、市役所、KURUTO おおぶ、マックスバリュ等で販売している。

- 販売店舗の拡大を期待する。

- 災害時のストック、注意喚起という点で効果があるので、採算性を考慮して 120 円くらいでも良い。

- 雨水の活用について

⇒ 常に配水場に貯水しており、断水しても 10 日間は給水できるため、雨水の活用の予定はない。

- 「見せる」としての「小学校出前講座」の実施状況について

⇒ 小学4年生を対象に以前から実施している。「夏休み親子講座」は今年度初の取組である。

(4) 今後の課題について

● 料金改定の必要性の議論について

⇒ 本日は、経営上の現状と課題の共有がねらいであり、次回、健全経営を維持するための収支計画を提示する。

● 収入の安定確保と支出抑制をしたうえで、安定的に水を供給するためには、料金改定も必要だという進め方が理解につながると考える。

● 料金改定は致し方ないと思うが、次の世代へつなげていくためにも、環境負荷を低減する工事方法や地域循環の取組みの採用などの視点も必要と考える。

● 大府市の水道事業は、現状、健全経営を維持できているが、今後、配水場の更新などの工事が予定されており、資金状況が危ぶまれることを説明してもらい、理解をいただいた。経営努力により支出削減は概ねやれているものの、工事費用を賄うまでは困難である。水道事業は、料金以外で収益を上げることは難しく、今後の課題として料金改定がある。